

令和6年度 第1回総合教育会議録

日 時 令和6年4月10日（水）午後2時00分から午後3時00分まで
場 所 本庁舎3階 第1・第2・第3委員会室
出席者 小林市長、宇野教育長、野尻正人教育長職務代理者、鈴木英夫教育委員、
山崎亜由子教育委員、矢光重敏教育委員、矢嶋千鶴教育委員、
坂本総務部長、杉本企画財政課長、三木企画担当リーダー、企画担当紫村
山口教育次長兼社会教育課長、佐野学校教育課長、
藤本学校教育課学校づくり担当リーダー

傍 聴 者 傍聴人なし

市長挨拶

本日はご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。教育委員の皆様には、日頃から本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

令和5年5月に新型コロナウイルスの法律上の位置づけが2類から5類に変更されたことに伴い、流行前の行事や活動が行えるようになり、アフターコロナの社会への転換と日常への回復が一気に加速しました。

コロナ禍において「児童生徒の学びの保障」のためICT教育が加速し、本市においては児童生徒一人一台パソコンや電子黒板を令和2年度に導入・本格運用を開始しました。令和4年10月からは家庭への持ち帰りを開始し、学習の個別最適化に向けAIドリルの導入も行いました。

今後におきましては、新学習指導要領の趣旨に沿い、ICT機器を活用した学習指導法を推進したいと考えております。

また、今年度も「大月っ子楽習サロン」や「大月サマースクール」を継続するとともに、コロナ禍の影響で行えていなかった「大月市英語体験活動」の再開を目指しつつ、全小学校へのコミュニティスクールの導入も推進したいと考えております。

本年度も、皆様のお力をお借りする中で、市内の児童・生徒がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、教職員、保護者、地域の皆様とともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えております。

本日の議題は、「令和6年度学校教育の指針」についての1件であります。活発なご意見をいただき、ご審議のほどお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

教育長挨拶

それでは一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

学校も月曜日の入学式もいい天気恵まれて、始まりまして今日3日目となりました。新入生を迎えてまた新しくこられた先生方を迎えて、大変張り切っているということを聞いております。先ほど市長のご挨拶にもありまして、アフターコロナの2年目となります。学校本来の教育を加速できることに喜びと明るい未来を感じております。大月市の子供たちや先生方も先ほどから申し上げますように、明るく新鮮な気持ちで学校に顔を向けてくれています。そんな先生方や子供たちに倣いまして、私もおかげさまで5年目を迎えることができました。もう一度自らを鼓舞して、新しい気持ちで学校が心を耕す豊かな教育活動ができて、自ら学ぶ力を身につけられるよう、そして子供たちの笑顔がたくさん見られる日々となるよう、緊密に連携していこうと思っております。この後「令和6年度大月市学校教育指針について」審議をしていただきますが、たくさんのご意見をいただく中で、内容をさらに広げ、掘り下げられて共有できればありがたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

議 事

(1) 令和6年度 大月市学校教育の指針について

説明者 宇野教育長

【内容】

「令和6年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

原案のとおり承認されました。